

令和3(2021)年10月

関西福祉大学 社会福祉学部
「**最重度の障害があっても姫路城天守閣に登ろう**」Project
～「あきらめる」「仕方ない」は私たちが使うべき言葉ではない～

関西福祉大学社会福祉学部の熊野ゼミ・水野ゼミ(2年生)では、このたび、最重度の身体障害(肢体不自由)がある方のご希望に寄り添い、姫路城の天守閣の登城を支援し、最上階からの景色を楽しんでいただくプロジェクトを実施致します。2017年の初成功から今年で5年目となりますが、昨年はコロナウィルス感染防止の関係で中止となり、2年ぶりの実施となります。世界遺産姫路城の登城支援を通じて、ご本人からこぼれる笑顔は、学生の今後にも大きな影響があるとともに、社会に対しても「共生社会」って何だろうという一石を投げ続けています。

～活動の概要～ 姫路城天守閣内(高低差46m, 階段109段, 最大傾斜52度)では車いすの使用ができない。軍事施設から観光施設となった現在においても、重度の障害がある方は登城をあきらめてこられた状況について、「あきらめる」「仕方ない」は私たち(学生)が使う言葉ではない」ということをモットーに、ゼミ活動の中で、車いす以外の介助器具を探し、レスキュー隊員から専門的な技術を学び、学内の階段昇降訓練を繰り返し、2017年11月、姫路城の記録が残る限り、はじめての登城支援に成功。以来、今日に至るまで継続して実施している。6人で1組となり、イス型の担架を使つての登城支援では、周囲の観光客からの温かな励ましもあり、お互いに笑顔で譲り合いながら上り下りをする光景は、共生社会とは何かについて考えていくための小さな、しかし確固とした問題提起となっている。

【開催日程】

- 日程 令和3(2021)年11月4日(木) 午後2時30分 登城開始(所要時間約1時間(休憩を含む))
- 参加者 登城希望者: 最重度の身体障害者2名(加古川市在住)及びご家族の方
スタッフ: 社会福祉学部2年生23名, 障害福祉サービス事業所職員 若干名(健康観察等)
大学教員3名

【プロジェクトの状況(2021年度(登城時写真は過年度))】



▲レスキュー隊員による垂直昇降技術指導(2021)

▼天守閣までの急坂(2019)



▲最大傾斜52度の城内階段(2017)



▲最上階にてこぼれる満面の笑み(2018)